

全国一般福岡地方本部ニュース

発行日

2014年11月17日

各支部大会を開催

支部新役員の選出、組織拡大、
春闘・一時金闘争、争議分会の勝利、
統一地方選挙の勝利を誓う

9月27日～28日に開催された全国一般労働組合福岡地方本部第55回定期大会を受け、各支部で定期大会が開催され、支部新役員が選出され、1年間の運動方針が活発に討論された。

筑後支部第18回定期大会

専従書記長に吉岡潤二さんを選出！



(10月25日 筑後支部第18回定期大会)

筑後支部は、10月25日、久留米市の「労働会館会議室」に於いて、

来賓7名、役員・組合員55名が参加し、第18回定期大会を開催した。大会は、支部梶島執行委員長の挨拶、地本山岡委員長などの来賓のあいさつに続き、杉本書記長の経過報告、運動方針に基づき討議された。筑後支部は、今年度の大会で吉岡潤二さんが専従書記長に選出された。杉本書記長からのバトンタッチである。

大会では、一昨年10月、久留米記念病院で管理栄養士として働く江口組合員が、理事長及び課長からパワーハラスメントを受けたり、夏季一時金を10分の1に減額されるなどのいじめ行為に対して、全国一般に加盟して闘って勝利した報告があった。病院側は一貫してパワーハラスメントを否定し、また一時金減額も能力査定の結果であると開き直った。支部は、直ちに福岡地裁久留米支部に提訴し闘った。病院は給食部門の完全外部委託と称し、江口組合員を含めた全員への解雇を通告してきた。これは江口組合員を排除する芝居であった。病院は、県労委闘争のなかで、解雇撤回し謝罪した。そして、今年8月7日、裁判所に於いて「全面的な勝利和解」した。和解内容は「法人が真摯に謝罪する」「解決金として150万円支払う」「月額賃金をもとの額に回復する(月額31000円)」であった。江口組合員は、「私は何も悪いことをしてきたわけではない、間違った病院をただしたかった。組合員の皆さんの励ましで勝利できた」と語り、参加者から大きな拍手がわいた。

筑後支部は、今年は青年部学習会に力を入れており、活動家が育ってきている。

大会終了後は、山岡委員長と新執行部で交流会を行った。

筑後支部新役員

執行委員長	梶島 泉					
副執行委員長	由衛國寿	末次武	中村重樹			
書記長	吉岡潤二					
書記次長	西坂昇一					
執行委員	野田 博	萩尾俊治	吉開正英	大坪雄一	宮崎理文	
	大城敏彦	西 大輔	待鳥祐樹	高木博規	稲益利己	
	熊本隆大	杉本良雄	長谷川吾一			
会計監査	合田哲史	田所文男				

大牟田支部第14回定期大会

阿具根委員長が市議会議員に

立候補を決意！



(10月11日 大牟田支部第14回定期大会)

大牟田支部は、10月11日、大牟田市新栄町「えるる」で第14回の支部定期大会を開催した。大会には、来賓、役員、代議員合計38名が参加した。阿具根委員長は、1年間の闘いとして、千寿薬局の裁判闘争の闘い、さらには年間約50名の仲間を増やした組織拡大の取り組み、さらには、統一地方選挙も含めて組合員が一致団結して闘うよう強く呼びかけた。近藤書記長より、各分会の詳細な報告と運動方針が提案され満場一致で採択された。また、笹野選挙管理委員長より、役員選挙結果の報告があり、全員信任された。

地本山岡委員長からは、組織拡大の必要性、大牟田支部の専従体制、労働者や女性、社会的弱者のための地方自治を目指した取り組みの必要性、そのためにも大牟田市議会議員への挑戦をすべきであることなどについて提案された。

大会終了後は、山岡委員長と執行部で交流会を行い懇親を深めた。

大牟田支部新役員

執行委員長	阿具根真哉				
副執行委員長	本田賢治				
書記長	石橋信善				
書記次長	塚本祐子	堀田真一	(青年部長兼務)		
執行委員	松永賢一	林田一憲	猿渡比佐美	溝上友宏	
	永江昭彦	浅山和恵	上田欣弘	秦国吉	
会計監査	猿渡常彦	松尾京子			

北九州支部第43回定期大会

大会に138名が結集し、争議分会の勝利、
組織拡大、平和・職場闘争等を意思統一！



(北九州支部第43回定期大会 11月7日)

北九州支部は、11月7日、北九州市小倉北区の「北九州総合労働会館」に於いて、来賓15名、役員・組合員123名が参加し、第43回定期大会を開催した。

大会では、ストライキで春闘・一時金闘争を闘った分会、正社員より非正規組合員の賃上げを多く勝ち取った曾根生コン分会の闘い（正社員組合員賃上げ5000円、非正規組合員7500円）、正社員と契約社員の同一賃上げ7000円を勝ち取った小倉コンクリート分会の闘い、社会保険料負担割合使用者7対労働者3を勝ち取った玄洋分会の闘い、さらには1年間で45分会を結成した組織拡大の取り組み、争議5分会の報告、集団的自衛権反対など平和と民主主義を守る闘いなどが報告された。北九州支部は、11月より新たな専従スタッフ1名を雇用し、常時5名専従体制となる。会場では、年末物販の要請と闘争カンパが取り組まれた。大会終了後は、焼き肉ウエスト真鶴店を貸し切り123名で交流会を開催し親睦を深めた。

北九州支部新役員

執行委員長 山岡直明
副執行委員長 永渕梅雄 田中泳秀 長野秀人 池田正治
書記長 高野正春
書記次長 甲斐美恵子
執行委員 白石安雄 知識哲也 松野義晴 竹本勝典 犬丸喜晴
山本幸代 菅健 市 新谷久樹 今田光子 樋口太門
田中誠一 大池 隆 松下法一 金子 巖 林 隆一

原 信宏 鎌田家康 柴田一馬 野見山直人 野下宏幸
大古久美 安武伸悟 山内真理子 宮野穂積 西村裕之
池田隆敏 宮崎 浩 岩橋耕二 専光寺 勝 堂免建二
出口義測 梅原常夫 板井広美 増田守隆 半情三次
鍛屋博英 田中光枝 久保田まさ子

特別執行委員 森本由美
会計監査 福島香
書記 小手川君代 スタッフ 星野 進 福崎弘嗣

福岡支部第56回定期大会 専従書記長に浜田薫さんを選出！



(福岡支部第56回定期大会 10月18日)

福岡支部は、10月18日、福岡市中央区の「チクモクビル」に於いて、来賓、役員・組合員65名が参加し、第56回定期大会を開催した。

大会は、支部泉野執行委員長と来賓のあいさつに続き、経過報告、運動方針が討議され満場一致で採択された。各分会の具体的闘いとしては、就業規則変更未払い賃金で闘った三和陸運分会、偽装整理解雇され裁判闘争を闘っている坂本電機製作所や、県労委和解後も一時金切りさげを闘う共働タクシー分会などから報告があった。新規加入の第一警備、出萌各分会からも決意表明があった。とりわけ、支部の指導体制や組織拡大について活発に意見質疑があった。

福岡支部としては、「組合組織への集中と信頼」を強化すること、支部では初めての女性専従書記長を中心とし、新執行部体制で組織拡大をめざしていくことを意思統一した。

福岡支部新役員

執行委員長 泉野時彦
副執行委員長 杉谷富男 古賀勇一 村上忠司 田路利明
書記長 浜田 薫
書記次長 上田良夫

執行委員 竹本三芳 草野幹雄 守田高德 山下正人 益田敦
川上一美 朝野政信 真名子智美
会計監査 相良 学 盛田 孝 斉藤幸一
特別執行委員 椎葉初男 野村 勇
顧問 浦 俊治 大江敏夫

筑豊支部第31回定期大会

組織拡大、財政強化に向け奮闘を誓う！



(10月24日 筑豊支部第31回定期大会)

筑豊支部は、10月24日、直方市殿町の「直方市労働会館」で、来賓、役員、代議員合計35名で第31回定期大会を開催した。

山口支部委員長は、安部政権のもと、集団的自衛権の行使の閣議決定、派遣法など労働法制の大改悪が進められていることなど、まさに危機的状況に対して全国一般が中心となり奮闘する必要性をうったえた。また、筑豊支部としては、組織拡大に全精力を傾注することが重要であり、そのために一人ひとりの組合員の奮闘を呼びかけた。河村書記長からは、各分会の春闘、一時金闘争やエースタクシーの自主再建闘争の取り組み、組合員と司福岡との事故の損害賠償訴訟の勝利判決、サクラ物流からの不当解雇に対する地位保全の仮処分決定という勝利決定の報告、さらには1年間の運動方針が提案され満場一致で採択された。大会では、分会を結成し未払い賃金など闘いが前進している西田工業分会の4名の新組合員が紹介され、大きな拍手で迎えられた。

筑豊支部新役員

執行委員長 山口徹也
副執行委員長 大山順子 小原博明
書記長 河村敏昭
執行委員 春田浩一 上山勝也 大野利彦 山本健太
会計監査 柳 勝二 白水悦子